

令和5年3月24日

保護者等アンケートへの回答

【学習指導について】

○家庭学習の定着

- ・ 講習や宿題を極力減らすか自由選択として、生徒一人一人が自分の進路計画に沿った勉強時間が取れるように配慮してほしいです。
- ・ 1000 分目標はなくてもいいと思いました。やらされているという感覚は主体性を鈍らせるだけだと感じます。

○講習は自由選択です。

○宿題は各科目担当者が、本校生徒の学力を伸ばすために必要であることを課しています。必要がないと感じたのであれば、教科担任のところに行き説明を聞きに行くようお願いします。

1000分「目標」についてはあくまでも過去の多くの卒業生のデータを分析した平均的な結果から算出した目安であり、1000分の学習が絶対に「必要」と言っているわけではありませんのであまり気になさらないでください。それ以下の学習時間であっても効率よく学んで十分な成果をあげている生徒は多数おります。

○授業のあり方

- ・ 授業が分からず、辛いようです。分からない子へのフォローを厚くしてほしいです。
- ・ 学習指導について、学校側としては工夫や努力してくださっているとは思いますが、それが我が子に反映されているか、定着しているか、と問われると答えに困りました。先生方の取組により、我が子にその力がついたかどうか、半年では分からないのが正直なところです。我が子をしっかり見ていない、と言われればそれまでですが。
- ・ 生徒のやる気に負けないような、熱意のこもった授業をお願いいたします。
- ・ 適切な学習指導に大変感謝しております。
- ・ プール授業を受けられなかった場合など、補講などで、今年は秋口までプールがありました。北海道は寒い為、体調不良が心配です。特に女性は体の冷えは深刻な問題ですので、実施時期の検討いただけたらと思います。
- ・ 教員は日頃から生徒に授業に興味を持たせるよう研鑽を積んでいるのか。マンネリ化していないか。
- ・ アカデメイアが時間が足りないせいか物足りなさを感じます。コロナ禍で難しいと思うがアカデメイアの発表は親なども見ることが出来たらと思います。カリキュラムの違いもあると思いますがコロナ前に他校での発表を見てとても感心したので東高校でも見たかったです。
- ・ 上位の中高一貫校と互角に戦うために、全体的に授業のスピードをできる限り早くして、高3のときに受験勉強にかける時間を多く取れるようにしていただきたいです。

○先日 of 年度末職員会議において、生徒一人一人の実態を把握し、適切なレベルの授業を展開できるよう日々扱う教材の精選をお願いします、と述べました。しっかりと研鑽を積んでいきたいと思っています。

○補習等

- ・希望者を対象に放課後講習などを検討してみたい
- ・テスト前など教室に残って勉強しているようですが先生方が見回って質問に答える、教えるということはあるのでしょうか!?□
- ・進路講演会で話を聞いた後、子供が塾に行きたいと言ってきました。もっと学力を上げたいと考えての発言でしたが、塾に行かなくても学校の補習などで苦手教科の克服ができれば良いと思います。
- ・夏季、冬季の長期休暇の際に学習指導を開催していただき感謝しております。先生方の手厚い指導で通塾無しでの大学受験も可能なのではないかと感じるほどです。
- ・授業で理解できない時があるようです。補える機会をつくってほしいです。

○授業についていけない生徒の多くは、勉強の仕方を根本的に間違えている、家庭学習をほとんど行っていない、学習意欲にやや欠ける、などの傾向が多いです。正しい授業の受け方ができていて、家庭学習時間の確保ができていて、意欲も高い状態にあるのに、それでも授業についてこれないときは、担任、各教科担任にご相談ください。

放課後講習は、年3回、放課後講習（実施の有無は学年ごとに判断）を設定しており、例年、各学年とも夏休み明け～11月初旬の2期間で実施しております。1、2年生で冬休み明け～2月中旬、3年生で4月中旬～5月中旬に実施した年もあります。希望があれば、担任にご相談ください。

○学習指導について

- ・2年後の新学習指導要領での大学共通テスト対策について、実践的な解答方法やテクニックを指導していただきたいです。
- ・いつも質問に親身に対応いただいていると聞き、感謝しています。
- ・中・下位の生徒への支援が乏しい。集団としての学力向上につながるよう、生徒任せにせず、手をかけて、底上げしてもらいたい。
- ・美術選択は復活できないのか検討していただきたいです。建築学科などでは、デッサンが入試科目にあるところも多く不利になります。将来的にものづくりを目指す理系の生徒にもデザインの勉強が必要だと思います。
- ・ある教科の内申が厳しいと思います。子供達も嘆いています。推薦希望なので特に強く感じています。ある科目の勉強法がよくわからない様です。指導の方よろしくお願いします。

○大学入学共通テストは、小手先のテクニックで何とかなるような試験ではなく、確実な知識を前提とした思考力・判断力・表現力が問われる試験です。本校では生徒の学力を高めるための指導はしますが、大学入試で点数を取るためのテクニックに特化した指導はしておりません。本物の学力を身につければ、大学入試で高得点を取ることは容易であると思います。過去の多くの卒業生が実証してくれています。

美術を選択科目から無くしたことは苦渋の選択でした。学級数が減り、教員数も減り、復活はできません。どうかご理解ください。

○考査について

- ・テストなどの校内順位が発表されないのは本当にいいと思います！！

○考査について

順位発表に関しては様々な意見がありますが、当面はこの形で行きたいと思います。

○リモート授業について

- ・個性豊かで、わかりやすい授業を展開してくださる先生方に感謝いたします。(子どもが「授業楽しい」とよく言っております。塾に通っていないので、講習も大変助かります。コロナ禍が未だ終息には至らないので、リモート講習の充実を図っていたけると有り難いです。
- ・オンライン授業をどうにかした方がいいと思います。撮影した授業を YouTube で流すのもいいですが、せっかくオンラインで繋がっているのに生徒と先生がきちんとやりとりが出来るようにして欲しかったです。
- ・コロナなどで欠席した児童にオンライン授業や録画授業を見せるなどの支援を学校で統一して行っていただけると大変ありがたいです。
- ・学校側から家庭でタブレットを購入させられましたが家ではゲーム機です。タブレットでゲームしたり YouTube を見たりする事を学校側でも注意していただければ助かります。

○可能な範囲でオンライン配信を行っておりますが、通信環境、機器設備がまだまだ整っておらず、満足な授業は提供できておりません。これからの時代の流れに何とかついていけるように、道教委から予算がついてくれることを願っております。なお、進学校でも大規模校でも小規模校でも、予算の割り当て方に差はありません。

○類型選択について

- ・文理選択について、簡単でもいいので保護者に向けた説明等、もう少し欲しかったです

○類型選択について

毎年、第1回保護者懇談会で説明しております。生徒にも保護者にも適切な説明を行っていくように心掛けておりましたが、何か不足している点がございましたら具体的に指摘いただければ改善していきたいと思います。

【キャリア教育と進路指導】

○進路指導の在り方

- ・今の時点ではどんな学校があるか自分がどのような道に進みたいのかまだわかっていないと思うのでいろいろな学校に行った方の話など聞けると幅が広がる気がします。
- ・学びのフローラなど、ご準備が大変とは存じますが、継続していただきたいです。
- ・学びのフローラ、素晴らしい活動だと思います。
- ・学びのフローラについて、あまり子供から話を聞くことがなく、残念に思います。
- ・「何者になりたいか」ではなく「何を学び続けたいか」という視点での進路指導も行ってほしい。「何になりたいか」を重視しすぎると世界が広がらない気がします。
- ・3年生の11月の校内模試実施の必要性は疑問。
- ・進路迷っていてどうしたらいいかわからなくなってもいるようです。大学以外の選択肢は相談に乗っていただけるのですか？

- ・子供が、受験や定期テストに関してはほとんど話してくれません。学校側からも、直接子供に受験についての注意事項（共通テストでの教科選択の仕方や募集要項の見方など）を指導していただけるとありがたいです。
- ・子供が楽しそうにお話してくれます。とても参考になってる、と言ってます。ありがとうございます。
- ・大学受験についてもう少し詳しく本人に指導して欲しいと思います。医学部でない学部についてももっと知れる機会、学びのフローラなどを増やして欲しい。特に工学部について知りたいです。
- ・色々な先輩方からの講話があるのは素晴らしい。
- ・模試や講習等の費用は、申し込む前にその都度案内するべきだと思う。
- ・大学を選択する際に、様々な分野で活躍している先輩の話を聞く機会があれば良い。例えば「どの大学のどの学部に進学すると、どのような企業に就職できる可能性がある」とか、YouTubeなどにアーカイブを残して進路指導に活用したりすればどうか。

○本校の進路指導は、特定の大学への誘導ややみくもに偏差値の高い大学を勧めるということはありません。あくまでも本人の希望に基づいて教員から提案を行っていくことを基本としています。1年次には、それぞれの学部の特色やそこで学べること、自分の適性や好みを研究することを重視しています。2年次には、自分が学びたいことをさらに探っていき、実際にそれができる進路(大学・学部)はどれかを見つけることを目標としています。3年次には、2年次に定めた目標を達成するために自分がすべきことを適宜、計画・実行することを目指しています。ただし、生徒一人ひとりの成長スピードや個性には違いがあり、進路集会やその他進路行事では十分に満足のいく回答になっていないことも承知しています。その足りない部分を補うために、担任を始めとする本校の教員を活用いただきたいと考えています。

○「何を学び続けたいか」という視点での進路指導について、本校でもそのように考えており、本年度の中学生向けの学校説明会（9月、動画配信）でも、中学生にもそのように訴えているところです。

○外部講師を招いての「学びのフローラ」を今年度も開催いたしましたが、コロナの関係もあり、時期や人数にまだまだ制約があります。今後とも行事の質の向上を図ると共に幅広い分野から講師を招きたいと考えています。講師として卒業生を中心にお願いしておりますので、生徒自身の将来像を描きやすいと考えています。なお、講演の中で、社会や大学について触れられることもあります。

○模擬試験には共通テスト型（マーク式）と2次試験型（記述式）のものがあり、現在本校では3社の模試を使っております。できるだけ多くのデータから志望校と本人の実力の距離を測ろうとすると、結果的にどうしても10月から11月にかけて模試が集中することになるため、回数が多いと感じられるかも知れません。

しかし、ある道内進学実績の高い学校では第3回全統記述模試の翌週に校内実力テストを、別の学校では本校と全く同じ時期に2日日程で校内実力テストを実施しております。本校生徒と志望校が競合するこれら高校の生徒たちと伍して戦うためには、この時期に同じような強度で受験に向かう姿勢をつくるのが必要だと考えます。

本校には「模試で勉強する」という言葉があります。これはインプット型学習に偏るのではなく、模試という緊張状態の中で壁にぶち当たり、それを乗り越える経験を積むというアウトプット型学習で、本番に通じる実戦力を鍛えること（大手予備校の最上位コースで取られている教授法です）を勧める言葉です。このような考え方で模試の日程を設定しておりますことをご理解ください。

○進路に関することは大学以外のことも含めて、担任あるいは進路室にご相談ください。また、自分が興味がある分野については、それぞれの教科の担当者に相談に行ってください。いずれの場面でも、東高生として、誰かに気づいてもらうことを期待するのではなく、情報を自分から取りに行くという姿勢を育んでほしいと考えています。

○講習体制等

- ・夏休み、冬休みの講習会は希望者の参加型にして欲しい

夏期講習・冬期講習は強制参加ではありません。しかし、本校の生徒は受験は団体戦と考え、毎年、自主的に参加しております。浪人した卒業生の中には「東高の講習の方が良かったです。受けたらダメですか」と語る人もおりました。

○キャリア教育全般について

- ・進路を考えるにあたって、その先にどのような職業があるのか、具体的に話を聞ける機会があるといいと思います。
- ・アカデミアの授業をキャリア教育の一環としている生徒もあり、とても良い取り組みであったと思いました。動画配信もありがとうございます。可能であれば、保護者も発表を見に行くことができたら嬉しく思いました。
- ・自分のやりたい分野がある生徒には、それに詳しい先生と話せる機会をもうけていただくと有難いです。例えば、芸術分野なら音楽の先生とか、古典文学なら古典に詳しい先生等。その方が進路が広がり自分の思っていたのと違う事を早めに知れるかと思いました。
- ・保護者が学校からどのように情報を得るのか分かりません。

○学校からの情報提供について、本校では年間約5回の進路集会が行われ、各回ごとに進路だよりを発行しております。どんなことが話題とされているのか、お子さんと進路について話すきっかけとしてほしいと思います。

【生活指導について】

○学校生活について

- ・委員会活動？や係活動、補習などを昼ごはんを食べる時間に充てられるというのを、よく聞いていました。お弁当を食べる時間くらいは確保してもらいたいと思った時が何回もありました。それはあまりにも酷なのかな、と思います。
- ・貴重品管理について指導を徹底してほしい。

○委員会と補習は昼食時間を考慮して開いていますが、重なった場合は時間が足りないこともあります。委員会には代理出席も認めていますので、担当教員へご相談ください。

○貴重品については、自転車も含め所有物への管理意識を高めていきたいと考えています。

○自転車マナーについて

- ・自転車通学の生徒のスピードの出し過ぎが気になることがあります。
- ・朝、夕の自転車、気をつけて。

○今年度の交通事故は、対車が3件、対自転車が3件発生しています。幸いにも大きな事故にはなりませんでした。次年度もスピードの出し過ぎも含めて注意喚起していく予定です。また、事故発生時の対応についても不十分な点が見られたため、被害者のみならず、

加害者になった場合も想定して指導していきたいと考えています。

○人間関係・マナー指導について

- ・今の東高生は、挨拶をしません。恐らく生徒同士での先輩後輩の礼儀ありません。敬語も上手くは使えません。会釈も、適当なタイミングで出ません。高校を出た後、可愛がられないなあと思います。
- ・人に不快感を与えるような会話の内容はやめさせてほしい。

○素晴らしい東高生もおりますので、彼らを中心に改善に向けて働きかけていきたいと
思います。ご指摘ありがとうございます。

○携帯・スマホの利用について

- ・校門を出たとたんに歩きスマホをしている生徒さんを時々見かけます。しない方の大人の私からすると、まず危険ですし(特に横断歩道)、見た目も良くないかと。人として TPO に合わせた行動ができるようご指導をお願いいたします。

○ご指摘の通り、人として T P O に合わせた行動がとれるよう生徒自身が判断して行動
できるよう指導していきたいとします。

○学校（生徒会行事）行事について

- ・学校活動に関しては申し分ありません。行事と学習で、メリハリが付くと思っています。
- ・学校祭準備期間中の帰宅時間がやや遅くなることが気になっていました。安全面を配慮し、帰宅時間が遅くなり過ぎないようにご指導お願いいたします。準備や当日の様子を動画配信してくださりありがとうございました。
- ・合唱コンクールは生徒の良い思い出に残ると思うので経験させてあげたいです。
- ・合唱コンクールなくなったのは寂しいなと思いました。
- ・東高の自由な校風をこれからも大切にしてください。強歩大会の趣旨が変わってしまったのが残念でした。バカになることを心から楽しむ素直さを兼ね備えている子は強いです！
- ・最後の行事として楽しみにしていた急歩大会でしたが、直前で授業の扱いになり、仮装が認められず悲しい気持ちになりました。ただでさえコロナで制約の多い学校生活を送っているのに、多少の遊び心も認めてあげて欲しいです。制服がない点もそうですが、自由な中に生徒の自主性があり、規律も保たれているのが東高の良さだと思っています。

○学校祭準備期間中の下校時刻については、以前に比べて早めています。次年度についても生徒会や教職員と検討していきたいとします。

○合唱コンクールについては、実施時期が生徒の負担を大きくしているため、過去に時間をかけて検討した結果、実施しないこととなりました。

○急歩大会は、そもそも体育の授業として実施している行事です。急歩大会に向けて多くの生徒が完歩できるよう、日頃の授業で体力づくりに励んでいます。体育科としてはコロナ禍以前の急歩大会の反省結果や健康・安全面の観点で今回のようなかたちで実施することとなりましたので、ご理解ください。

【部活動について】

○部活動の活動状況について

- ・進学校なのに文武両道は賛成出来ません。親の許可なしに入部出来るシステムは理解出来ません。志望大学に入るために入学したのに今は友達関係構築の為に入部し入試の事を真剣に考えているとは思えません。
- ・新聞局が再開したこと なにかを作ろうとする活力があること その空気を作ってくれていることが素敵だと思います。ただの受験のための学校ではない学校であって欲しいです。
- ・部活動がかなり忙しい印象。部活の忙しさやお金のことは入部前に具体的に説明してほしかったです。

○以前は新入生保護者説明会を開いている部活動もありましたが、コロナ禍の影響で開けなかった場合もあるかと思います。入部について、お困りの点があれば学校までご連絡ください。

【保健安全指導について】

○生徒の支援について

- ・一人一人を大切にした指導に感謝しています。

○コロナ対策について

- ・今後の感染症対策について、科学的、医学的、社会学的、ほか様々な観点から検討していただけないでしょうか。全ての子供たちが、大人の顔色をうかがうことなく、安心して意見を述べられ、そしてよく話し合われる世の中になってもらいたいと願っております。
- ・黙食が徹底されてないそうですので、感染拡大を防ぐため、指導していただきたいと思います。
- ・昼食中のコロナ対策を少し気にしてほしい。小学校や中学校、会社でも黙食、パーティションなどを行っているのに、高校生は自由ではこまる。
- ・マスクの着脱に関して「任意であること」、生徒達のマスク有無で「強制、注意されることの無いよう」教職員の皆様や生徒たちに周知をしていただきたく思います。よろしくお願いします。
- ・コロナ禍での感染対策など配慮いただきながら修学旅行や学校祭等の行事を実施していただき、ありがとうございました。勉強、部活の他に高校生活の思い出ができて良かったと思います。

○感染症対策は、文部科学省の「衛生管理マニュアル」、北海道教育委員会の通知に基づき対応しております。今後も、感染状況の変化に応じて、マニュアル及び通知に基づき対応しますので、ご理解ください。

【施設設備について】

○暑さ対策・寒さ対策・室温管理

- ・換気のせいもあるのか教室が寒いようです。何か対策はないですか？
- ・夏場の暑さ対策において、旭川も夏の暑さが耐え難いものになってきています。学習に集中できるように、教室の冷房完備を考える必要があるのでは？と思います。
- ・学習環境に対して、北海道とはいえ酷暑が続いているので、エアコンの設置を望みます。短時間でも、真夏は辛かったです。既に、同じ北国の東北の公立小中学校は設置済みです。

○その他の施設・設備

- ・軽食が買える売店や自販機を置いて欲しい。
- ・購買があるとよいです。軽食の自販機を設置するのは不可能ですか？
- ・購買の早い時期の再開を希望します。
- ・売店はいつ再開するのでしょうか？外部に弁当の発注や軽食の自販機の設置など、他校は業者が見つからないなりに取り組んでいると思います。
- ・学食、売店の設置
- ・机、椅子を新しいものに替えて欲しい。昨年から要望していますが、改善されてません。
- ・環境設備の件、教室の場所による様ですが、机や床のがたつきが気になり「授業に集中できない！」と子供から聞きましたので、お伝えします。
- ・東高前の道路脇に、特に学校祭準備期間などになると、どうしても迎えにくる保護者が列になってしまうことが多いので、校舎内に入るのを許可した方が一般の通行車両の迷惑にならないと思います。

○夏場の暑さ対策として、北海道教育委員会に冷房設備の設置要望を継続して行っています。冬場の寒さ対策は、ボイラーの系統によって暖まりにくい教室もありますが、今後もこまめに室温を確認し、適正な室温に留意していきたいと思います。

○机・椅子他、施設・設備の劣化について、修繕に努めているところです。

○購買を運営していただける業者を継続して募集していますが、応募がない状況です。みなさまからの情報提供をいただけると幸いです。

○校地内での車輛と人との接触事故を避けるため、ご協力いただいております。学校前ではなく、交通の妨げにならない場所で乗降するようご協力ください。

【学年】

○担任との相談・情報共有について

- ・配布物を紙ではなく、クラスごとの Classi で送信していただけたら。
- ・欠席した際など、担任の先生がとてつもない丁寧にご連絡くださり、本当に安心していきます。学校も部活もとても楽しいようです。先生方に感謝しております。これからもうぞよろしく願いいたします。
- ・先生方が授業以外に声をかけて下さるのも嬉しいみたいで、学校生活とても楽しそうにしています。

- ・特に担任の先生にはいつも細かい配慮をいただき、感謝しております。高校になるともっとドライ？クール？な感じだと思っておりましたが、子どものことをよく見てくださって頻繁に声かけや励ましをしてくださっているのを聞き、驚きと感謝でいっぱいです。今後ともよろしくお願いいたします。旭川東で高校生活を送れてよかったです。
- ・テスト期間中や行事等で、いつもと終わる時間等が違う場合予定表などを親にも配信してくれるとありがたいと思います。お弁当の関係もあるので。
- ・各授業での取り組みや生徒たちの課外活動での活躍の様子について、保護者も知る機会が増えると嬉しく思います。
- ・電話の対応時間が短く、仕事をしているものにとっては直接話したいことも話せない場合があります。道立高校は、全て貴校と同じ時間帯の対応でしょうか。（緊急メールの対応はあるのですが、メールだとこちらの意図していることが伝わっていない場合もあるように思えます。）

○今までも大事な配布物等は Classi で送信した後、配布という形式を行ってきましたが、今年度からは 重要な配布物以外についても Classi での配信、その後配布としたいと思います。

○生徒の課外活動の様子については、余裕のあるときに動画を撮り、YouTube にて配信いたします。

○電話の対応時間については、道立高校同じ対応をしております。ご理解ください。

【管理職】

○教員の指導体制について

- ・学級数が減っても、教科の先生方の人数が不足することのないよう、道には適性配置をしてほしい。学級数で、安易に教員数を減らさない。
- ・授業中や生徒に対する言動には、十分注意してほしい。
- ・教員の指導のレベルに差がありすぎる、と子どもが話しております。
- ・挨拶を返してくれない先生がいるようです。とても悲しい気持ちです。
- ・毎日楽しく通わせていただいています。先生方や事務員さん、その他東高に関わって下さってる皆様に感謝しています。ありがとうございます！
- ・いつもありがとうございます。

私自身も卒業生ですが、今さらながら、学校はありがたいものだったんだと実感しております。今の生徒達は、その半分も理解していないと思いますが、大人になってから気付くんだと思います。引き続きよろしくお願いいたします。

- ・3年間、旭川東高で学び、多くの刺激を受け、大きく成長することができました。コロナ禍での入学で親子共々涙を飲んだことも多くありましたが、教職員の皆様のご尽力で、制限のある中でも充実した学校生活だったようです。ありがとうございます。

○教員の資質向上のため、授業アンケートの結果分析や公開授業、校内研修を重点的に行うとともに校外研修への積極的参加を促します。また、生徒理解に努め、個に応じた指導が実践できるよう情報共有を図ります。